

| | | | |
|----------------|---|------|----|
| 科目名 | 教育学概論 | | |
| 担当教員 | 越野 章史 | | |
| 対象学年 | | クラス | |
| 講義室 | | 開講学期 | 前期 |
| 曜日・時限 | 火3 | 単位区分 | |
| 授業形態 | 講義 | 単位数 | 2 |
| 準備事項 | | | |
| 備考 | 全学部・全学年 【教育学A】の修得者は履修不可 | | |
| 科目名（英語表記） | Sciences of Education | | |
| 授業の概要・ねらい | 近代以降の日本における学校教育の歴史を、政治社会・経済社会の変動とも関わらせながら平易に概説する。その際、教育政策の水準と教育実践の水準を往還することにより、制度改革が何を意図し何を帰結してきたのかを、各時代の状況をも踏まえて理解できることをめざす。 最終的には、今日進行しつつある教育「改革」の意図、意味を各人が自らの学校経験とも結びつけつつ、理解できることをめざす。 | | |
| 授業計画 | 1. オリエンテーション、講義内容の概説 2. 日本における近代学校の成立 3. 大正自由教育 4. 総力戦体制と教育 5. 戦後教育改革1 政策・制度の層 6. 戦後教育改革2 コア・カリキュラム 7. 戦後教育改革3 生活綴方 8. 「逆コース」教育改革 9. 戦後教育をめぐる対立の図式 10. 高度成長と教育1 期待される人間像 11. 高度成長と教育2 系統主義の思想 12. 高度成長と教育3 「新しい」教育問題 13. 低成長の時代へ 14. ゆとり教育とは何だったのか 15. 現代の教育改革と教育実践 | | |
| 到達目標 | 日本における学校教育改革の流れを時代状況を踏まえて理解し、今日の教育改革論に対する識見を深める。 | | |
| 成績評価の方法 | 期末試験70%、提出物（感想・質問カード）30% | | |
| 教科書 | 特に指定しない | | |
| 参考書・参考文献 | 山住正己『日本教育小史』岩波書店, 1987. 小熊英二『〈日本人〉の境界』新曜社, 1998. 佐野真一『遠い「山びこ」』新潮文庫, 2005. ジョン・ダワー『敗北を抱きしめて 上・下』岩波書店, 2004. 斉藤貴男『教育改革と新自由主義』寺子屋新書, 2004. ほか多数。講義内で紹介します。 | | |
| 履修上の注意・メッセージ | | | |
| 履修する上で必要な事項 | | | |
| 受講を推奨する関連科目 | | | |
| 授業時間外学修についての指示 | 授業計画に沿って、上記の参考書や講義内で紹介する文献等を積極的に読み、教育問題に関する広い知識と歴史的認識をもてるよう、また自分なりの疑問や問題意識を持って講義に臨めるよう、心がけてください。 | | |
| その他連絡事項 | | | |
| 科目ナンバリング | C0070001J | | |